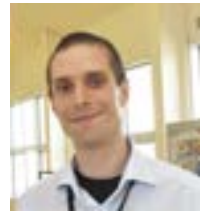




「カメッレ」のお菓子投げ
(©Superbass CC BY-SA 3.0)

ヤニックのドイツ紹介 ③ Drei (ドライ)

ドイツの5つ目の季節



皆さん、こんにちは！ Guten Tag！
上越市の国際交流員、ディーツ・ヤニックです。このコーナーでは私の出身国であるドイツについて連載しています。今回はドイツの「5つ目の季節」を紹介します。

ドイツにも春・夏・秋・冬の4つの季節がありますが、私の出身地のラインラント地方には、5つ目の季節があるという人も少なくありません。ただし、5つ目の季節は自然現象ではなく社会現象のことです。

毎年11月11日午前11時11分に各地で開催される「会議」と呼ばれるお笑いのステージイベントから、「カーニバル会期」が始まります。その会期終盤にあたる1月29日～3月9日の間に、6日間(木曜日～火曜日)の「街頭カーニバル」が行われ、これがラインラント地方の5つ目の季節と呼ばれています。昔の太陰暦に従って決められるイースター(「復活祭」とも呼ばれます)の52日前から行われることになっているため、開催日は毎年異なります。



2019年、ケルンの「バラの月曜日」のパレードにおける山車の一例
(©Raimond Spekking CC BY-SA 4.0)

「街頭カーニバル」では、山車やマーチングバンド、ダンサーなどのにぎやかなパレードが各地で行われます。パレードから観客に向かってお菓子が投げられると、まるで雨のように降ってきますが、このお菓子をとるために傘を逆さに持つ人もいます。

ケルンでは、街頭カーニバル5日目の「バラの月曜日」(ローゼンモンターク)に最大のパレードが行われます。この地域のほとんどの人は「バラの月曜日」までの5日間は休みを取り、休みが取れない人もその月曜日だけは休みます。



ボンの女性の代表が街のカギをもらいました。「街のカギ」とは、中世の城門のカギから由来して、街の権威を象徴します。
(©Axel Kirch CC BY-SA 4.0)

私の出身地のボンでは、初日の木曜日がとても大切にされ、「ヴァイパーファッスナット」と呼ばれています。「女子のカーニバル」という意味で、その日は女性が旧市庁舎を荒らして、市長から町のカギを奪い取ります。社会を支配してきた男性の力を奪ったことを宣言することから、街中でも、職場でも、その日にネクタイをしている男性に出会うと、そのネクタイをはさみで切る習慣があります。パレードに参加するために仕事を休んだり、ネクタイが切られても笑ったりするほど楽しめるお祭りは、5つ目の季節と呼んでもいいですね！

アウフ、ヴィーダーゼーエン
またお会いしましょう！ Auf Wiedersehen！

東京2020オリンピック競技大会まであと **174日**
東京2020パラリンピック競技大会まであと **206日**
※表示日数は2月1日時点です。

上越市
オリンピック・パラリンピック推進室
公式フェイスブックはこちらから▶

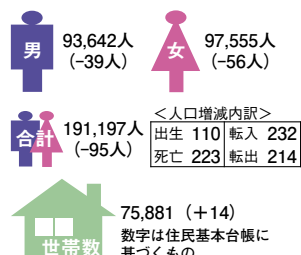


広報対話課から
(☎025-526-5111)

●「広報上越2月15日号」は、2月13日(木)・14日(金)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和2.1.1現在。()は前月との比較



表紙のことは：息を合わせて

1月12日に吉川区の川谷地区で行われた冬まつりでの一コマです。臼を囲んだ3人が順番についていきます。餅がまとまってくると「よいしょ」のかけ声に合わせてテンポが上がり、見事な餅がつき上がりました。会場に集まった参加者は具たくさんのお雑煮やきな粉でつくたての餅を楽しんでいました。